

レスポンスウェブデザインの導入により、 最小限の手間で短期間に成果を実現



Zorpia について

- ・ www.zorpia.com
- ・ 香港 (中国)
- ・ ソーシャル プラットフォーム

ゴール

- ・ モバイルに対応する
- ・ 使いやすいモバイル サイトを立ち上げる
- ・ シンプルで効率的なサイト管理を実現する
- ・ 手間と費用を節約する

手法

- ・ レスポンスウェブデザインを使って、コードの構成をすべてのサイトで統一する
- ・ デバイスに合わせてレイアウトを適合させる
- ・ 最適なユーザー エクスペリエンスを提供する

結果

- ・ 携帯端末での広告収益が 36% アップ
- ・ クリック率が 54% アップ
- ・ インプレッション収益が 64% アップ
- ・ 合理的な開発手法を実現

マルチスクリーン対応について

今日のメディア利用の 90% はスクリーンを介して発生し、消費者は状況に合わせてスマートフォン、タブレット、PC、テレビを切り替えて利用。そこで Google のマルチスクリーン対応のリソースを活用すれば、どのデバイスでもシームレスな閲覧環境を提供できるウェブサイトの構築が可能に。

レスポンスウェブデザインについて

レスポンスウェブデザインにより、ウェブサイトが表示されるスクリーン (デバイス) のサイズに合わせてサイトを動的に表示することが可能。詳しくは、Google Developers サイトでスマートフォン向けウェブサイトの構築を参照。



Jeffrey Ng 氏 (現 CEO) が 2003 年に設立した香港を拠点とする Zorpia は、無制限のメッセージ サービスを無料で提供しており、世界中のユーザーの交流の場となっています。現在 Zorpia ネットワークの登録ユーザーは 3,100 万人に上り、インドのユーザーが 40%、アメリカのユーザーが 14% を占めています。

他のソーシャル ネットワークとは異なり、Zorpiaにはオンラインでの新しい友だちづくりを促進する特徴があり、ユーザーは携帯電話を使って簡単に友だちを増やすことができます。このため、Zorpiaにとってはあらゆる携帯端末で最適なマルチスクリーン環境を提供するモバイルサイトの構築が不可欠です。

Jeffrey Ng 氏は、Google のレスポンスウェブデザインのことをインターネットで初めて知りました。レスポンスウェブデザインを導入すると、あらゆるスクリーン (PC、モバイル、タブレット) のサイズに合わせてサイトを適切に表示できます。Ng 氏は 2013 年に開催された Google のレスポンスウェブデザイン イベントに参加し、レスポンスウェブデザインを導入すれば「すべてのサイトでコード構造を統一できるので、デバイスごとにレイアウトだけを変えればよい」ということを知りました。また、レスポンスウェブデザインを導入することで、サイトを開発、管理する手法も大幅に簡素化、効率化されます。

Zorpia では 2013 年 10 月からレスポンスウェブデザインの導入作業を開始し、わずか数週間で作業を終えました。実際のプログラミングにかかった時間はさらに短く、作業にあたった担当者はわずか 4 名で済みました。「導入がこれほど簡単だとは驚きでした」と Ng 氏は語っています。

「レスポンスウェブデザインを導入すれば改善が見込めるとわかってはいましたが、これほど素晴らしい成果が上がるとは考えもしませんでした。」

- Jeffrey Ng 氏, Zorpia, CEO

レスポンスウェブデザインのサイトを 2013 年 12 月に立ち上げて以来、Zorpia のモバイル サイトでの AdSense 収益は 36% 向上し、クリック率は 54%、インプレッション収益は実に 64% も向上しました。

また、レスポンスウェブデザインは Zorpia の社内文化の改善にも一役買いました。それは、モバイルの小さなスクリーン サイズを意識することでスペースの使い方に細かな配慮が必要となり、結果的にあらゆるデバイスで適切に機能するシンプルなデザインができて上がるという改善効果です。それ以降同社では、まずモバイル サイトの開発から着手し、その後で PC サイトの開発が行われています。

Ng 氏が他のサイト運営者様に「レスポンスウェブデザインへの切り替え」を強くすすめるようになったことは言うまでもありません。